



今なにができるか考え、ともに行動しよう

2012年に第二次安倍政権が誕生し、自民党の「一強」時代が長く続き、「戦争できる国づくり」が次々と進められた。これに危機感を覚えた野党と市民の共闘で国会周辺に集まった。当時、私は現役であったために、一回り上の先輩たちの誘いで休みの日には駆けつけた。

「安保法制」を強行採決するな！ と15年8月30日に国会前に12万人が結集した。当時、私たちも先輩たちに連れられ10数人で行ったが、途中の混雑ではぐれて国会前まで辿り着けない仲間もいたことがあった。

あれからアツという間に10年は経ち、その先輩たちはいなくなり、私たちが先導してデモに参加している。高市自民・維新政権ではさらに「戦争する国づくり」が進められてきた。防衛費という名の軍事費がGDP比2%を超えて、長射程ミサイルの配備、武器・弾薬庫の増強などをした。

私の住む葛飾区は、自衛官の募集事務を目的として、対象となる年齢（18歳と22歳）の区民の個人情報（氏名・住所・年齢・性別）を自衛隊に提供することを決めた。野党区議の申し入れで、期間内に「除外申請」手続きをすれば除外するとした。

解散総選挙以降、老若男女問わず、高市首相の暴走に対する危機感が増してきた。4月の葛飾憲法集会、5月の亀有駅ペンライト集会、5・3有明防災公園の集会とデモ行進等々、全国各地で若者と女性たちが増えて活気づいてきた。

最近、警察の「過剰警備」が気に入らない。高市首相の焦りが垣間見えた気がした。

#主権者は私たち!! #戦争やめろ!! #武器より物価高対策を!! と、今なにができるか考えて、呼びかけて、ともに行動しよう。

労働大学事務局次長 芳賀 芳美